







患者氏名 _____ 様

入院診療計画書 人工骨頭置換術クリニカルパス

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
 病棟(病室) ____ 階 東・西 (____ 号)
 主治医 _____
 主治医以外の担当者 _____

病名	症状	検査・手術内容および日程
転子部骨折、大腿骨頸部骨折	疼痛及び運動障害	下記の通りに治療を進めていきます

経過 月日	入院～	手術前日	《手術当日》	術後1日目	術後2日目～	術後7日目～	術後14日目～21日目 ～
処置	必要時、足を引っばります(牽引) 尿管が入ります		術後、酸素をする場合もあります 背中に痛み止めの管が入ってきます 足にマッサージポンプをつけます	ガーゼ交換をします 術部の管と、背中の管を抜きます	車椅子に乗れたら、足のマッサージポンプを外してストッキングをはきます	手術後10日～14日で抜糸します	
薬	内服薬を看護師に見せて下さい 薬剤師から説明があります		朝に内服薬がある時はお渡しします 点滴は翌日の夕方頃まで行います	手術後3日目まで化膿止めの点滴を1日2回します 静脈血栓予防の薬を使用します(注射または内服) 通常の内服薬をいつも通り飲み始めます			
検査	血液・X線検査を行うことがあります 下肢エコー		手術後にレントゲン撮影をします	血液検査	4日目:血液検査	7日目:血液検査 レントゲン撮影、下肢エコー	14日目:血液検査 レントゲン撮影、下肢エコー
安静度	ベッド上安静となりますが、ベッドアップできます		ベッド上安静となります 術後は45度までベッドアップできます	ベッドを90度まで起こせます 介助で横を向きます	2日目から車椅子に乗れます 初めは看護師がお手伝いします 		*地域連携パス使用の場合は術後2～3週間で 転院となります
リハビリ	できる範囲で筋力訓練をしましょう			リハビリが始まります		リハビリ室での訓練を開始します 手術した足に、体重を全部かけることができます	
食事	通常の入院の食事となります 治療食の場合もあります	夕食まで食べられます	手術を終えた数時間後から、水分をとれます	朝食から食べられます (全粥食)	通常の食事をご希望の方は申し出てください		
清潔	看護師が体を拭きます 洗面・歯磨きもお手伝いいたします					7日目からは、シャワー浴ができます (抜糸が済むまでは、創部を保護してシャワーをします)	
排泄	排便は、ベッド上で便器を使用します	浣腸をします	尿管が入っています 排便時はベッド上です	車椅子でトイレに行けたら早めに管を抜きます			
目標	手術について理解し、安心して手術に臨める 股関節部痛が増強しない		手術後の合併症を理解しその症状を伝えられる 痛みについて伝えられる	安全に車椅子で移動できる	危険なく歩行訓練を行う	退院に向けた準備をする 歩行訓練が安定して退院ができる	
説明	入院時の説明があります 病棟を案内致します 医師から手術の説明があります 手術日が決まりましたら具体的に説明を致します 地域連携パスの説明をします	麻酔科医師、手術室の担当看護師から説明があります	 手術後に医師から説明があります	リハビリの説明をします		退院手続きを行います 診断書が必要な方は退院が決定したら早めに提出してください 退院後の生活について説明します	

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです

上記の内容とその説明について、十分ご理解して頂けたら、ご署名をお願い致します

患者氏名 _____

2015年10月改訂
 東北労災病院
 TEL 022-275-1111(代表)

患者氏名 _____ 様

入院診療計画書 人工骨頭置換術クリニカルパス

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 病棟(病室) _____ 階 東・西 (_____ 号)
 主治医 _____
 担当看護師 _____

病名	症状	検査・手術内容および日程
転子部骨折、大腿骨頸部骨折	疼痛及び運動障害	下記の通りに治療を進めていきます

経過 月日	入院～手術前	手術前日	《手術当日》	術後1日目	術後2～6日目	術後7～14日目	術後15日目～21日目
食事	通常の入院の食事となります 治療食の場合もあります	夕食まで食べられます	手術を終えた数時間後から、水分をとれます	朝食から食べられます (全粥食)	通常の食事をご希望の方は申し出てください		
安静度	ベッド上安静となりますが、ベッドアップできます (_____ 度まで・痛くない程度まで)	ベッド上安静となります 術後は45度までベッドアップできます		ベッドを90度まで起こせます 介助で横を向きます	2日目から車椅子に乗れます 初めは看護師がお手伝いします		
リハビリ	できる範囲で筋力訓練をしましょう			リハビリが始まります		リハビリ室での訓練を開始します 手術した足に、体重を全部かけることができます	
検査	血液・X線検査を行うことがあります		手術後にレントゲン撮影をします	血液検査	4日目:血液検査	7日目・14日目:血液検査、レントゲン撮影	
処置	必要時、足を引っばります(牽引) 尿管が入ります		術後、酸素をする場合もあります 背中に痛み止めの管が入っています	ガーゼ交換をします 術翌日に術部の管と、背中の中の管を抜きます	車椅子に乗れたら、足のマッサージポンプを外してストッキングをはきます	手術後10日～13日で抜糸します	
薬	内服薬を看護師に見せて下さい 薬剤師から説明があります		朝に看護師から、薬が渡されます (通常の内服薬はお休みです)	手術後3日目まで化膿止めの点滴を1日2回します 必要に応じて静脈血栓予防の薬を使用します(注射、内服) 通常の内服薬をいつも通り飲み始めます			
清潔	看護師が体を拭きます 洗面・歯磨きもお手伝いいたします					7日目からは、シャワー浴ができます(抜糸が済むまでは、創部を保護してシャワーをします)	
排泄	排便は、ベッド上で便器を使用します	浣腸をします	尿管が入っています 排便時はベッド上です	車椅子でトイレに行けたら早めに管を抜きます			
説明	入院時の説明があります 病棟を案内致します 医師から手術の説明があります 手術日が決まりましたら具体的に説明を致します 地域連携パスの説明をします ◎手術時の必要物品 ・T字帯 2枚 ・タオル 6枚	麻酔科医師、手術室の担当看護師から説明があります	手術後に医師から説明があります	リハビリの説明をします			退院手続きを行います 診断書が必要な方は早めに提出してください 退院後の生活について説明します
目標	手術について理解し、安心して手術に臨める		手術後の合併症を理解しその症状を伝えられる 痛みについて伝えられる		安全に車椅子で移動できる	危険なく歩行訓練を行う	退院に向けた準備をする 歩行訓練が安定して退院ができる

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです

上記の内容とその説明について、十分ご理解して頂けましたら、ご署名をお願い致します

患者氏名 _____

2010年1月改訂

東北労災病院

TEL 022-275-1111(代表)

病名	症状	検査・手術内容および日程
変形性股関節症、関節リウマチ	疼痛及び運動障害	下記の通りに治療を進めていきます

主治医 _____
担当看護師 _____

経過 月日	入院～手術前 / ~ /	手術前日 /	《手術当日》 /	術後1日目 /	2日目～4日目 / ~ /	5日目～6日目 / ~ /	1週目 / ~	2週目 / ~	3～4週目・退院 / ~ /	
食事	通常の入院の食事となります 治療食の場合もあります	夜から絶飲食 になります	手術を終えた数時間後から 水分をとれます	朝食から食べられます (全粥食)	通常の食事をご希望の方は申し出てください					
安静度	特に制限はありません		ベッド上で安静となります	ベッドを起こしていきましょう 介助で横向きになれます	車椅子での移動になります 初めは看護師が手伝います		病棟でも少しずつ歩く練習をしましょう。			
リハビリ	リハビリ室での術前訓練が始まり ます 車椅子の練習をします			術後リハビリが始まります (術後訓練表参照)	立つ訓練や平 行棒の中を歩 く訓練が始まり ます		松葉杖を使って歩 く訓練をします 徐々に杖を1本にし て歩きます		手術側の足に全体重をかけて歩きます 歩行が安定したら、退院となります 入浴動作の訓練を行います	
検査	必要時血液・レントゲン検査		手術後にX線写真を撮影します	血液検査	血液検査		血液検査 X線写真		X線写真	
処置	自分の血を貯める方もいます (自己血輸血については医師から 説明があります)		足にマッサージポンプをつけます	ガーゼ交換をします 2日目頃に術部の管を抜きます	マッサージポンプをはずし、血栓防止用のストッキングを履きます		手術後約10日で抜糸します			
薬	内服薬を看護師に見せて下さい 薬剤師から説明があります		朝に看護師から薬が渡されます	手術後3日目まで化膿止めの点滴を1日2回します。 必要に応じて静脈血栓予防の薬を使用します(注射、内服)						
清潔	シャワーに入れます		手術前に足を清潔にします	看護師が体を拭きます。洗面・歯磨きもお手伝いします。抜糸がすんだらシャワーに入れます						
排泄		浣腸をします	おしっこの管が入っています ベッド上での排便になります	車椅子でトイレに行けたら早めに管を抜きます						
説明	入院時の説明があります 病棟を案内致します 医師から手術の説明があります 手術日が決まりましたら具体的に 説明を致します	麻酔科医師、 手術室の担当看護師から説明が あります	手術後に医師 から説明があ ります	リハビリの説明をしま す		退院手続きを行います 診断書が必要な方は早めに提出してください 退院後の生活について説明します				
目標	手術について理解し、安心して手術に臨める		手術後の合併症を理解しその症状を伝えられる 痛みについて伝えられる			転倒・脱臼する ことなく安全に 車椅子で移動で きる		危険なく歩行訓練を行う		退院に向けた準備をする 歩行訓練が安定する 杖歩行で退院できる

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです

上記の内容とその説明について、十分ご理解して頂けたら、ご署名をお願い致します

患者氏名 _____

病名	症状	検査・手術内容および日程
変形性股関節症 ・ 関節リウマチ	疼痛及び運動障害	下記の通りに治療を進めていきます

経過	入院～手術前	手術前日	《手術当日》	術後1日目	2～4日目	5～6日目	1週目	2週目	3週目	4週目	5～6週目・退院
月日	/ ~ /	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/ ~	/ ~	/ ~	/ ~	/ ~ /
食事	通常の入院の食事となります 治療食の場合もあります	夜から絶飲食 になります	手術を終えた数時間後から 水分をとれます	朝食から食べ られます (全粥食)	通常の食事をご希望の方は申し出てください 						
安静度	特に制限はありません	ベッド上で安静となります	ベッド上で安静となります	ベッドを起こしていきましょ う 介助で横向きになれます	車椅子での移動になります 初めは看護師が手伝います			病棟内でも歩く練習をしましょう			
リハビリ	術前訓練を行います 車椅子の練習をします		ベッド上でリハビリが始まりま す(術後訓練表参照)	立っ訓練が始 まります (手術側の足は 軽く床につく程 度です)	平行棒の中を 歩く訓練にな ります	両松葉杖を使っ て歩く訓練をし ます 徐々に杖を1本 にして歩きます	手術側の足に全体重をかけて歩きます 歩行が安定したら、退院となります 入浴動作の訓練を行います				
検査	血液・X線検査を行うことがあります	手術後にX線写真を撮影します	血液検査 	血液検査	血液検査	血液検査 X線写真	血液検査	血液検査	X線写真	X線写真	
処置	自分の血を貯める方もいます (自己血輸血については医師から説 明があります)	足にマッサージポンプをつけます	ガーゼ交換をします 2日目頃に術部の管を抜きます	手術後約10日で抜糸します							
薬	内服薬を看護師に教えてください 薬剤師からの説明があります	朝に看護師から薬が渡されます	手術後3日目まで化膿止めの点滴を1日2回します。 必要に応じて静脈血栓予防の薬を使用します(注射、内服)								
清潔	シャワーに入れます	手術前に足を清潔にします	看護師が体を拭きます。洗面・歯磨きもお手伝いします。抜糸がすんだらシャワーに入れます	退院手続きを行います 診断書が必要な方は早めに提出して下 さい 退院後の生活について説明します							
排泄	浣腸します	おしっこの管が入っています ベッド上での排便になります	車椅子でトイレに行けたら早めに管を抜きます								
説明	入院時の説明があります 病棟を案内致します 医師から手術の説明があります 手術日が決まりましたら具体的に説 明します	麻酔科医師、 手術室の担当 看護師から説 明があります	手術後に医師 から説明があ ります	リハビリの説明をします							
目標	手術について理解し、安心して手術に臨める	手術後の合併症を理解し、症状を伝えられる 痛みについて伝えられる	転倒することなく安全に車椅子で 移動できる	危険なく歩行訓練を行える	退院に向けた準備をする 歩行が安定し、安心して退院できる						

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです